

ベトナムで推進工事

CBSグループの支援受け受注

森岡組

注。森岡組は、直径600ミリの水道管を埋設する推進区間の施工を担当することになった。24日に起工式が行われる。

森岡組は現地に2人の技術者を派遣。立坑が完成した後、推進管の掘進作業を始め、20日程度で到達させる。

森岡組は、ベトナム進出を支援するCBSグループ（兵庫県姫路市、井上学社長）が2010年

に立ち上げた「中小建設企業のベトナム進出プロジェクト」のメンバー。中小建設会社が保有する土木技術を活用しようと

する大規模工事が発注されるケースも多いが、今回は小規模な工事で、中小建設会社でも十分対応できるといふ。

プロジェクトには14社が参加している。今回、公社から工事を受注した民間建設会社は、プロジェクトの趣旨に賛同した現地資本によって設立された。ベトナムでは、政府開発援助（ODA）を活用

同社では「インフラ工事は今後も発注が期待され、第1号の推進工事を受注したことは大きな成果だ」とし、CBSグループは「今後は港湾や基礎工事分野などへの展開を期待している」と話している。

水道管の推進工事などを手掛ける森岡組（奈良県五條市、川田昌宏社長）は、ベトナム・ホーチミン市で推進工法による上水道工事を受注した。ベトナムで日本の建設会社が推進工事を行うのは初

めて。同国では上下水道などインフラ整備が急速に進んでおり、同社は大都市を中心に推進工事の需要も高まると期待している。工事場所は、ハノイ道路を横切る区間で延長は

71㍍。開削工法では通行止めが必要になり、周辺道路で交通渋滞が発生するため、非開削の推進工法が採用された。ホーチミン市水道総公社が同国の民間建設会社に立坑を含めた上水道工事を発